**大　会　規　定**

１．競技規定について

　(１)　(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則　2023/2024」及び本大会要項による。

　(２)　試合開始７０分前に、マッチコーディネーションミーティングを行う。マッチコーディネーションミーティングは会場主任の進行で、マッチコミッショナー、当該試合の審判、両チームの責任者で行う。両チームの責任者は、ＦＰ・ＧＫの正副のユニフォームを持って参加すること。

　(３)　マッチコーディネーションミーティング時に専用のメンバー表を３部提出すること。

（４）　１・２回戦の交代に関しては、競技開始前に登録した最大７名の交代要員の中から、７名までの交代が認められる。一度退いた競技者は再び出場することができない。

（５）　準決勝・決勝の交代に関しては、競技開始前に登録した選手の中で再交代が認められ、ボールがアウトオブプレー中に、退いた競技者が再度、または複数回出場できる。交代の手続きは従来どおりサッカー競技規則第３条に則って行う。

　(６)　試合球は、５号球とし、競技規則第２条に適合するものとする。

　(７)　本大会において退場を命じられた選手は、次の１試合に出場することができない。違反行為の内容によっては、大会の規律委員会でそれ以降の処置について決定する。

　　　※各県大会における退場による出場停止処分の未消化分に関しては、ブロック大会でも適用される。

　(８)　本大会期間中、警告は累積され、２回の警告を受けた選手は、次の１試合に出場できない。

　　　※各県大会における警告の累積による出場停止処分の未消化分に関しては、ブロック大会では適用されない。

２．競技方法について

　(１)　競技方法についてはノックアウト方式（３位決定戦を行わない）とし、試合時間は６０分　（３０分ハーフ）とする。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は原則として１０分間とする。勝敗が決しないときは、１０分（５分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しないときは、ＰＫ方式により次回戦に進出するチームを決定する。ただし、決勝戦において勝敗が決しないときは、１０分（５分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しないときは、再度１０分（５分ハーフ）の延長戦を行う。それでもなお決しない場合は、ＰＫ方式により順位を決定する。

　(２)　チーム編成は一校単位で編成されたものを原則とするが、「山口県体育大会に関わる合同チーム編成規定」に基づき、合同チームでの参加も可能とする。

　(３)　参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員・引率者として適切であると校長が承認した外部指導者（コーチ）、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の代表（指導）者とする。また、出場校の校長・教員・部活動指導員が引率できないと、校長が判断した場合、外部指導者に引率及び監督の資格を認める。その際には、所定の書類を実行委員会に提出すること。コーチについては校長の認めた者とし、所定の用紙で届け出ること。

　(４)　ベンチに入れる人数は、監督、引率、コーチ各１名、選手１８名の計２１名以内とする。

　(５)　プログラム組み合わせ表のチーム番号の若いチームが、ピッチに向かって左側のベンチに入る。

３．熱中症対策について

　(１)　ＷＢＧＴ＝２５℃以上の場合は１分間の「飲水タイム」を、ＷＢＧＴ＝２８℃以上の場合は３分間の「Cooling Break」を行う。

　(２)　「飲水タイム」もしくは「Cooling Break」を設定する場合は、試合開始５分前の本部席集合時を目安に両チームに会場主任がその旨を知らせる。

　(３)　「飲水タイム」および「Cooling Break」の定義については、（公財）日本サッカー協会が策定した熱中症対策ガイドラインに示されたものに沿う。

　(４)　「飲水タイム」はあくまでも飲水のための時間であるが、「飲水タイム」時に体を冷やす目的でスポンジとタオルの使用を認める。「飲水タイム」時に、ミスト（霧吹き）を使用することやひしゃくでバケツの水をかけること等も、熱中症対策として認める。

　(５)　「飲水タイム」および「Cooling Break」とは別に、従来どおり、ボールがアウトオブプレーのときに、ライン上で飲水できる。

　(６)　飲水に関し、ピッチ内は水、ベンチ内では水以外にスポーツドリンクを飲むことができる。

　(７)　延長戦に入る前には、３分間のインターバルをとる。またＰＫ方式により次回戦に進出するチームを決定する場合には、１分間のインターバルをとる。いずれの場合も選手はベンチに戻り休憩することを許可される。

（８）　ＷＢＧＴ＝２８℃以上の場合は、試合時間の短縮、ハーフタイムの時間の延長を行う場合がある。

４．その他

　(１)　ユニフォームについては、次のようにする。

 ①　参加チームは、シャツの前面、背面に参加申込書に登録された選手番号（１～９９）をつけること。ショーツの番号についてはつけることが望ましい。（シャツ背面縦２５ｃｍ程度、シャツ前面縦１０ｃｍ程度、横はこれに比例して適当な大きさで番号は見えやすいもの）

　 ②　４色からなる２種類のユニフォームを用意する。

　　 （シャツ、ショーツ、ソックスすべて、２種類の色を用意し、フィールドプレーヤーとゴールキーパーの色はすべて異なること。）

　 ③　審判員と同一色または、類似色（黒または紺）のユニフォームをシャツに用いることはできない。また、ショーツとソックスは黒のみでも可とする。また両方が黒であるものも許される。ゴールキーパーについても同様である。

　 ④　シャツが縞（縦縞も横縞も）の場合は、台布（縦30㎝×横30㎝位）に背番号を付ける等、分かりやすくすること。

　 ⑤　参加申込書送付以降のユニフォーム及び選手番号の変更は認められない。

　(２) 本大会上位２チームは、中国大会（８月１日～３日岡山県美作市）への出場権と義務を与える。

　(３) 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ大会本部が行う。

　(４) 悪天候等で実施不可能な場合、順延し競技方法を変更することもある。